



リンナイ
株主通信

第19号

第54期中間事業報告書
平成15年4月1日～
平成15年9月30日



Rinnai
<http://www.rinnai.co.jp/>

リンナイグループは「熱機器の総合・専門メーカー」として、各時代のニーズに応えた安全性と快適性の追求を使命と考えています。今後も当社グループは、21世紀における環境問題や省エネ、健康・高齢化を念頭に置き、ITを活用した技術力・販売力・財務力など安定した経営基盤をもとに「熱と住生活のインターフェースを創造・提案する企業」として、グローバルに活動を展開してまいります。



当社グループは、「環境・省エネ」「健康・高齢化」「利便性」などの社会的テーマを追求した付加価値の高い商品を提供しています。

目次

株主の皆さまへ	1
業務内容	2
事業戦略のポイントと強み	3
商品開発力	4
グローバルネットワーク	5
リンナイピックアップ	6
営業のご報告(連結)	8
営業のご報告(単体)	10
会社データ	12
株式の状況	13

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。

さて、当社第54期上半期(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)における営業ならびに決算の概況をご報告申しあげます。

当上半期の日本経済は、企業収益の改善、株式市況の持ち直しなど緩やかながら景気に上向き感が見られたものの、先行きに対する不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

当業界におきましては、新設住宅着工戸数がほぼ前年並みで推移するなかで、住宅のリフォームをはじめとした買替需要は徐々に増加しておりますが、依然として市場競争における価格の低下は厳しさを増しております。

このような環境のもと、当社グループは、よりお客さまに近づいた商品開発、商品提案を積極的に進めてまいりました。商品開発では機能性、操作性、デザイン面でお客さまのニーズを徹底的に追求し、お客さまの視点に立った魅力ある商品づくりをテーマに取り組んでまいりました。また、営業施策としては、お得意先とともに「ためしてガス展」を全国規模で開催し、よりお客さまに近づいた商品提案をいたしました。

この結果、当上半期の業績につきましては、後記のとおりとなりました。

なお、中間配当金につきましては、当社の利益配分に関する基本方針に基づき、配当性向、株主資本利益率、財務状況などを総合的に勘案のうえ、前期の中間配当金に比べて2円増加の1株につき12円とさせていただきます。

今後の見通しにつきましては、企業収益の改善や民間設備投資の回復など景気の緩やかな持ち直しが期待されますが、急激な円高やアメリカ・アジア経済の先行きに対する懸念材料もあり、依然として予断を許さない状況が続くものと思われまます。

このような環境のもと、当社グループは引き続きお客さまの視点に立った魅力ある商品開発、顧客拡大を目指した積極的な営業提案、全社的な低コスト活動を推進し、収益力の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申しあげます。

平成15年12月

取締役会長

内藤 進



取締役社長

山崎 善郎



業務内容

リンナイは、ガス機器単品ではなく、快適な住空間を創り出すための
トータルデザイン・システムを基本とした高付加価値商品の開発を行っています。

給湯機器

風呂釜、湯沸器、
給湯暖房器等



空調機器

ファンヒーター、
赤外線ストーブ、
FF温風暖房器等



厨房機器

テーブルコンロ、ビルトインコンロ、
ビルトインレンジ、食器洗い乾燥機、
炊飯器等



業用機器

業務用炊飯器、
業務用焼物器等



その他

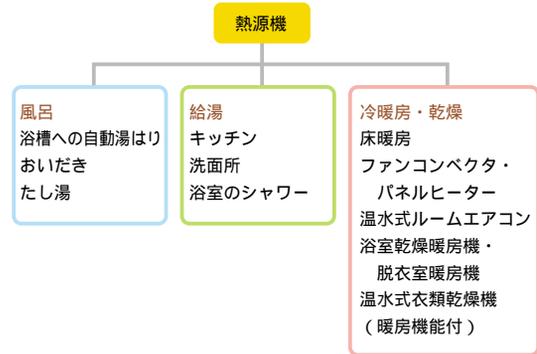
衣類乾燥機、
赤外線バーナー、部品等

事業戦略のポイントと強み

1 システム商品

1台の熱源機が、家中の給湯、暖房を管理

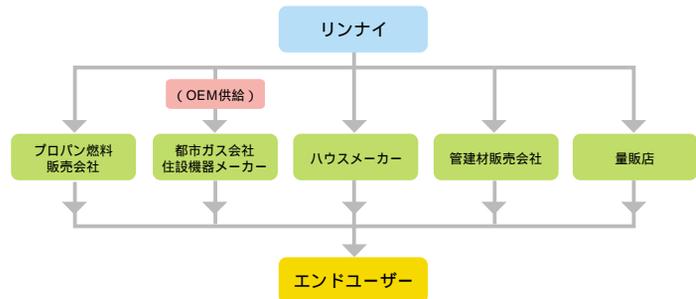
当社のガス給湯暖房システムは、1台の熱源機で給湯やお風呂はもちろん、床暖房、浴室乾燥暖房などの温水を利用した暖房まで管理できる、快適な住まいのトータルシステムです。今や、ガス機器は1年を通じて、快適な住まいにとって重要な役割を果たしています。また、厨房分野では、いかに快適なキッチンスペースを実現するかをテーマに、ハウスメーカーやシステムキッチンメーカーなどとの共同開発、連携を重視し、主要メーカーに多くの商品を供給しています。



2 多様な販売チャネル

エンドユーザーの身近で
サービスを提供

都市ガス会社へのOEM供給や、ハウスメーカー、管建材販売会社と連携するなど多様な販売チャネルを活用し、エンドユーザーに密着した販売ネットワーク、設置・施工およびサービス体制を構築しています。



3 研究・技術開発力

ガス機器に不可欠なガス制御・燃焼技術をはじめ、
各種先端技術を駆使

当社は、「熱」を通じて「快適な暮らし」を社会に提供していくため、ガス制御・燃焼技術および電子技術、センサー・ソフト技術、IT・通信技術の応用等の先端要素技術を核として、誰もが安心して安全にお使いいただける、省エネ・省資源・リサイクル等を追求した環境配慮型熱機器の研究開発を進めています。



内炎式の採用により、50%を超える高い熱効率を実現するエコマックスバーナー。

市場ニーズに対応した最近の人気商品をご紹介します。

快適性

1台で4つの機能を搭載する浴室乾燥暖房機

リンナイの浴室乾燥暖房機「バスほっと」は、浴室をさらに便利で快適な場にするために、「ぼかぼか暖房」「からっと乾燥」「すこやか換気」「さわやか涼風」の4機能を搭載しています。冬場は浴室内の急激な温度の変化が事故につながることもあります。また、「バスほっと」は浴室内の温度や風速を自動的に調節するため高齢者の方も安心です。また、浴室内を衣類乾燥室としてお使いいただく「からっと乾燥」機能は、浴室内のカビや結露の発生も抑えます。



除菌イオン機能搭載ガスファンヒーター

当社のガスファンヒーターに、世界各国でその効果が実証されているシャープ(株)製のプラズマクラスターイオン技術が新しく搭載されました。この除菌イオン機能搭載ガスファンヒーターは、室内に飛び交うカビ菌を減少させ、カビが繁殖する際のカビ臭さも抑えます。ガスファンヒーターとして冬はもちろん、室内の空気を健康的に保つので1年を通してお使いいただけます。

環境対応

韓国ではガスボイラーが7年連続で顧客満足度第1位

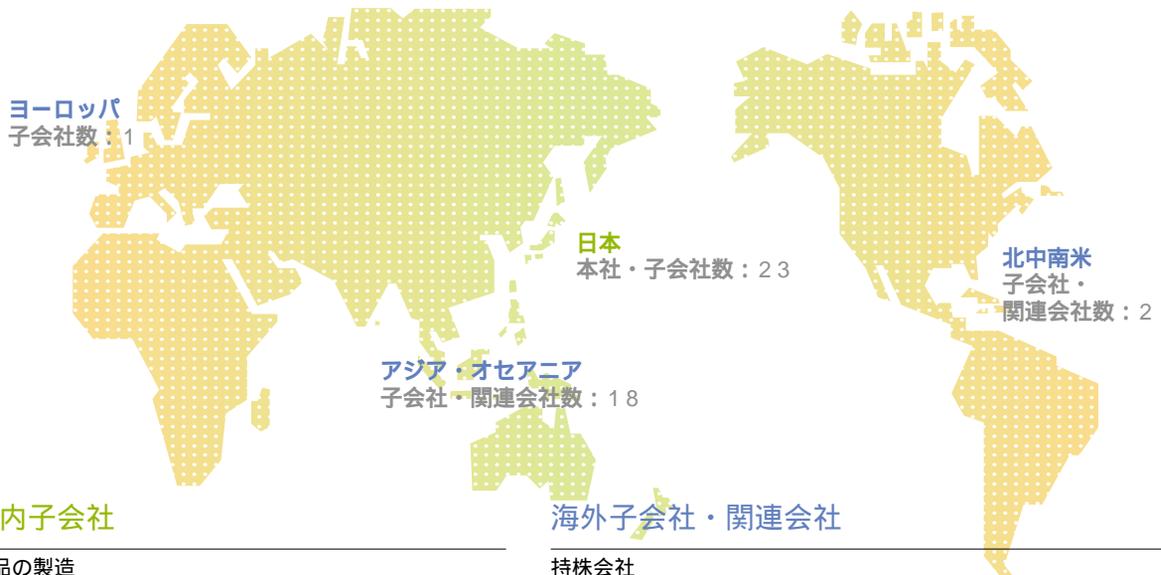
韓国ではオンドルと呼ばれる床暖房が100%普及しており、その熱源として給湯機能を持ったガスボイラーの需要が、燃料のガス化に伴い近年急激に拡大しています。リンナイ코리아(株)は、日本の先端技術を活かして韓国の市場に合った製品を開発したことにより、消費者より高い評価を得ており、韓国能率協会より7年連続で、顧客満足度第1位の評価を得ています。



海外市場

グローバルネットワーク

2003年9月末現在、当社グループは、当社(リンナイ株式会社)および子会社39社(国内22社、海外17社)、ならびに関連会社4社(海外4社)計44社で構成されています。



国内子会社

製品の製造	
(株) 柳澤製作所	リンナイテクニカ(株)
部品の製造	
アール・ビー・コントロールズ(株)	
リンナイ精機(株)	
アール・ティ・エンジニアリング(株)	
ジャパンセラミックス(株)	能登テック(株)
テクノパーツ(株)	アール・ビーテクノ(株)
製品の販売	
リンナイネット(株)	アール・ジー(株)
製品の販売および設置施工	
リンナイテック札幌(株)	リンナイテック東北(株)
リンナイテック東京(株)	リンナイテック新潟(株)
リンナイテック中部(株)	リンナイテック北陸(株)
リンナイテック近畿(株)	リンナイテック広島(株)
リンナイテック九州(株)	九州ガス燃料(株)
損害保険代理業	
リンナイ企業(株)	

海外子会社・関連会社

持株会社	
リンナイホールディングス(パシフィック)(株)	
製品の販売	
リンナイオーストラリア(株)	リンナイアメリカ(株)
林内香港有限公司	リンナイシンガポール(株)
リンナイUK(株)	
製品の製造販売	
リンナイニュージーランド(株)	台湾林内工業股份有限公司
リンナイコリア(株)	上海林内有限公司
リンナイタイ(株)	伯陶リンナイ機器(有)
リンナイインドネシア(株)	リンナイマレーシア(株)
リンナイベトナム(株)	広州名海燃具電器有限公司
部品の製造販売	
アール・ビー・コリア(株)	アール・エス・コリア(株)
上海燃宝控制器有限公司	ラニー精密(株)
三国RK精密(株)	
連結子会社	持分法適用関連会社
非連結子会社	持分法非適用関連会社

当社のガスファンヒーターが グッドデザイン賞を受賞

このたび、財団法人日本産業デザイン振興会主催の2003年度グッドデザイン賞に、当社のガスファンヒーター(RC-291NP/RC-390NP/RC-590NP)が選ばれました。受賞の主な理由は以下のとおりです。

1. シンプルかつモダンでスタイリッシュなデザイン形状
2. プラズマクラスター運転時(青色)とマイナスイオンコントロール運転時(緑色)を知らせる正面の表示部
3. 本体の色はメタリック仕上げで、ブルーの表示部をアクセントにしたデザイン

グッドデザイン賞は、形の美しさだけでなく、「品質の良さ」「使いやすさ」「商品としてのバランスの良さ」が認められたものに贈られる賞(マーク)です。今回の受賞は、当社製品の機能性はもちろん、住空間を快適にする質の高いデザインが評価されたものです。



RC-291NP/RC-390NP/RC-590NP

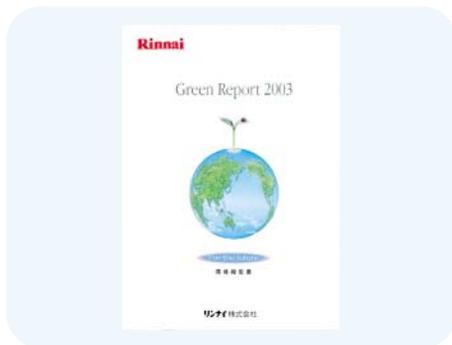
パッケージングコンテストで グッドパッケージング賞を受賞

社団法人日本包装技術協会主催の2003年パッケージングコンテストで、当社のガラストップビルトインコンロの環境適合包装が、グッドパッケージング賞を受賞しました。このコンテストは、「時代と社会の要請に対応した、生活文化に優れたパッケージおよびその技術の開発・普及に資すること」を目的としています。当社が受賞した電気・機器包装部門賞は、包装合理化・改善等に著しく貢献したパッケージに与えられるものです。受賞対象となったシステムキッチン用ガラストップコンロのパッケージは、ガラストッププレートと重量20kgを超える製品の保護を、従来使用していたベニヤ板とスチロール製緩衝材からオール段ボール化したもので、環境適合包装として高い評価を受けました。



国内の全工場で ISO14001を取得

当社は、人と地球にやさしい優れた技術の追求と、人間性豊かな商品の開発・生産活動・販売・サービスを通じて、地球規模での環境保全に取り組むとともに、社会に貢献することを基本理念として環境活動を行っています。1997年に大口サイト(大口工場および技術センター)、2000年に瀬戸工場で環境マネジメントシステムISO14001を取得し、環境に配慮した商品開発活動や生産活動を行ってきましたが、本年新たに愛知工場、旭工場においてISO14001の認証を取得し、国内の全工場での取得を完了しました。また、国内外のリンナイグループ各社においても認証取得を目指した活動を展開しており、すでに韓国のリンナイ코리아でも認証を取得しています。



当社ホームページのご紹介

当社はユーザーや株主・投資家の皆さまとのより良いコミュニケーションツールとして、ホームページを随時リニューアルしています。最近では、ホームページから直接に商品カタログをご請求いただけるようになりました。当社ホームページでは、以下のサイト例を含むさまざまな最新情報を掲載しておりますので、ぜひご利用ください。

カタログ請求

https://secure.rinnai.co.jp/catalog_form/index_catalog.html
国内のお客さまは商品カタログをご請求いただけます。

よくあるご質問

http://www.rinnai.co.jp/product/qa/q_all/index_faq.html
修理の際の連絡先など、ガス機器全般に関する「よくあるご質問」にお答えしています。

IR情報

http://www.rinnai.co.jp/ir/index_ir.html

株主・投資家の皆さまへ最新財務データ、決算短信、株価データ等をご提供します。



営業のご報告（連結）

連結財務諸表のポイント（単位：百万円）

当中間期 平成15年4月1日から平成15年9月30日まで） 前期 平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）
前中間期 平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）

連結損益計算書	当中間期	前中間期	前期	前中間期比 増減率(%)
売上高	88,184	83,742	189,685	5.3
売上原価	63,714	60,655	136,856	5.0
営業利益	4,782	4,332	13,173	10.4
経常利益	4,659	4,021	12,735	15.9
中間(当期)純利益	2,607	1,979	8,603	31.7
1株当たり中間(当期)純利益(円)	48.11	35.49	154.41	35.6

連結貸借対照表	当中間期	前中間期	前期	前中間期比 増減率(%)
総資産	189,179	180,810	183,872	4.6
負債合計	71,400	68,026	68,662	5.0
少数株主持分	3,996	3,993	4,341	0.1
株主資本	113,782	108,790	110,868	4.6

連結キャッシュ・フロー計算書	当中間期	前中間期	前中間期比 増減率(%)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,622	1,155	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,722	4,804	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,824	2,812	71.6
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,557	33,377	17.4

レシオ	当中間期	前中間期	前中間期比 増減ポイント
株主資本利益率(ROE)(%)	2.32	1.83	0.49
総資本利益率(ROA)(%)	1.40	1.09	0.31
売上高営業利益率(%)	5.42	5.17	0.25
株主資本比率(%)	60.15	60.17	0.02

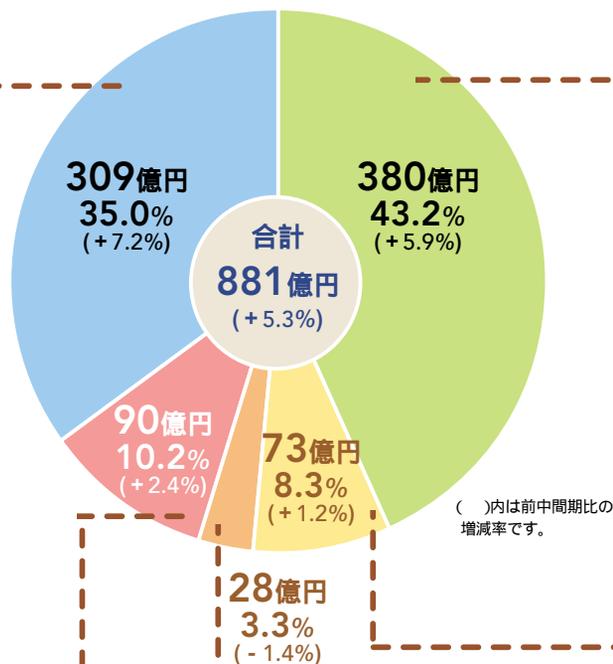
厨房機器

耐熱セラミックスガラスストッププレートと内炎式バーナーのEGトップシリーズは、美しさ、機能性、耐久性、熱効率の高さから、高い評価を得ています。



国内では昨年に続き本年も、ガラスストッププレートと内炎式バーナーを採用したコンロが、新規および買替需要とも好評であり、また、スライド式の食器洗い乾燥機も順調でした。海外は中国市場において、拡販努力により前年同期を上回りました。その結果、金額で前中間期比7.2%の増加となりました。

当中間期部門別売上高の構成



給湯機器

風呂給湯器がリニューアルしました。環境に配慮し、大気汚染の一因となるNOxの排出を低減する低NOxバーナーシステムを給湯・風呂バーナーの両方に搭載しました。



国内では快適で環境にやさしい給湯暖房システムが、新築およびリフォーム需要に人気があり伸長しました。また複合型の給湯器も買替需要を的確にとらえました。海外ではオセアニア、東南アジア、アメリカと各市場とも前年同期を上回りました。その結果、金額で前中間期比5.9%の増加となりました。

その他

国内では単品の衣類乾燥機が浴室乾燥暖房機の伸びもあり前年同期を下回りましたが、海外においても厳しい状況でしたが、国内製造関連会社が扱っている各種部材の増加により、金額で前中間期比2.4%の増加となりました。

業用機器

国内外ともに厳しい状況でしたが、特に国内においては外食、飲食業界の低迷もあり、前年同期を下回りました。金額では前中間期比1.4%の減少でした。

空調機器

国内は暖房機器の多様化や気候温暖化もあり出荷は厳しい状況でしたが、オーストラリア、アメリカ等の海外は前年同期を上回りました。その結果、金額で前中間期比1.2%の増加となりました。

営業のご報告（単体）

貸借対照表（単位：百万円）

当中間期 平成15年9月30日現在）

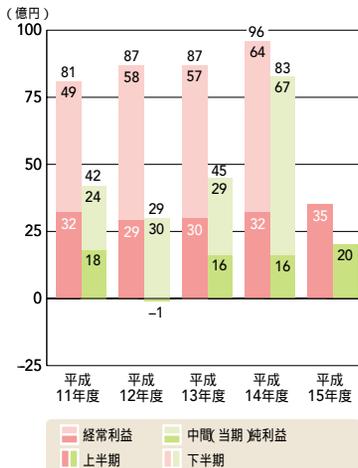
資産の部	当中間期	負債の部	当中間期
流動資産	71,870	流動負債	33,027
現金及び預金	3,636	買掛金	24,242
受取手形・売掛金	38,712	未払金	4,095
有価証券	11,563	未払法人税等	1,545
棚卸資産	15,986	賞与引当金	1,631
その他	2,035	その他	1,513
貸倒引当金	63	固定負債	4,621
固定資産	59,280	退職給付引当金	2,851
有形固定資産	22,147	役員退職慰労金引当金	1,603
建物・構築物	7,390	その他	166
機械装置	4,192	負債合計	37,649
工具器具備品	3,615		
土地	6,351	資本の部	当中間期
その他	598	資本金	6,459
無形固定資産	425	資本剰余金	8,719
投資等	36,707	利益剰余金	81,933
投資有価証券	15,258	株式等評価差額金	591
子会社株式	5,181	自己株式	4,201
その他	16,846	資本合計	93,501
貸倒引当金	578		
資産合計	131,151	負債及び資本合計	131,151

損益計算書（単位：百万円）

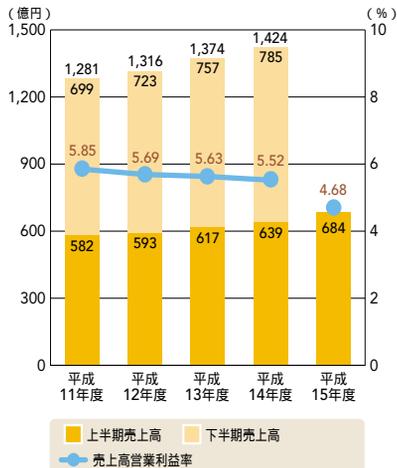
当中間期 平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）

経常損益の部	当中間期
売上高	68,419
売上原価	53,123
販売費及び一般管理費	12,095
営業利益	3,201
営業外収益	569
営業外費用	210
経常利益	3,559
特別損益の部	当中間期
特別利益	10
特別損失	281
税引前中間純利益	3,289
法人税、住民税及び事業税	1,615
法人税等調整額	385
中間純利益	2,059

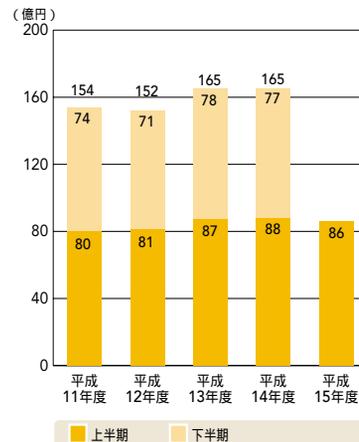
経常利益、 中間(当期)純利益



売上高、 売上高営業利益率

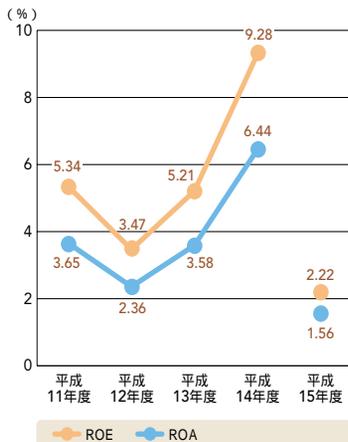


輸出高

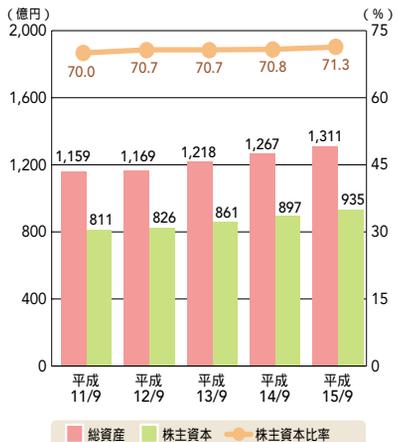


注:平成15年度は、中間決算の売上高営業利益率です。

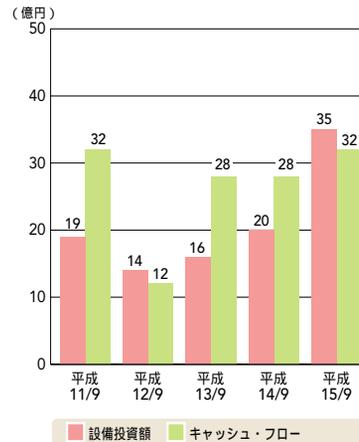
ROE、ROA



総資産、株主資本、 株主資本比率



設備投資額、 キャッシュ・フロー



注:平成15年度は、中間決算の年換算ベースで表示しています。

注:キャッシュ・フローは、当期純利益と減価償却費の合計額から利益処分の役員賞与・配当金などの社外流出分を差し引いた、いわゆる社内留保分です。

会社概要

創 業 大正9年9月1日
設 立 昭和25年9月2日
資 本 金 6,459,746,974円
本 社 〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26
TEL 052-361-8211 (代表)
従業員数 3,129名

国内ネットワーク

工場・センター

大口工場、瀬戸工場、旭工場、愛知工場、部品センター

研究所

技術センター

支社等

東日本営業本部、東北、中部、西日本営業本部、関西、九州

支店

札幌、仙台、新潟、東京、北関東、東関東、南関東、静岡、名古屋、大阪、広島、高松、福岡

営業所・出張所等

北見、釧路、帯広、旭川、函館、青森、八戸、秋田、盛岡、弘前、山形、酒田、郡山、いわき、福島、上越、長岡、水戸、土浦、千葉、松戸、多摩、宇都宮、埼玉、所沢、越谷、高崎、太田、東京、横浜、厚木、横浜北、山梨、沼津、浜松、長野、松本、上田、富山、金沢、福井、豊橋、岡崎、愛知、高山、東濃、岐阜、三重、四日市、滋賀、奈良、和歌山、京都、福知山、神戸、姫路、岡山、鳥取、米子、松江、広島、福山、山口、下関、高松、松山、高知、徳島、北九州、佐賀、長崎、佐世保、大分、熊本、宮崎、鹿児島、大隅、沖縄

役員

代表取締役会長	内藤 進
代表取締役社長	山崎 善郎
常務取締役	成田 常則
常務取締役	増岡 鋼造
常務取締役	宮田 務
常務取締役	林 謙治
常務取締役	内藤 弘康
取締役	森田 豊
取締役	岩田 武四
取締役	長坂 隆
取締役	小杉 将夫
取締役	吉田 雄三
取締役	小澤 敏典
取締役	祢津 忠信
取締役	北川 智彦
取締役	佐々木 静夫
取締役	箕浦 勝支
監査役(常勤)	和里田 勝弘
監査役(常勤)	後藤 靖彦
監査役	堀 紀代志
監査役	矢崎 健

(注)監査役の矢崎健は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成15年9月30日現在)

株式構成

株式の総数

発行する株式の総数

200,000,000株

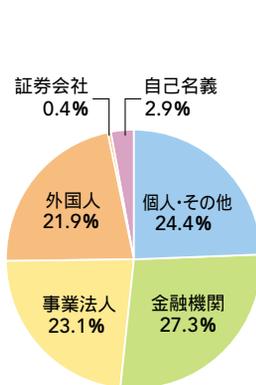
発行済株式数

55,787,463株

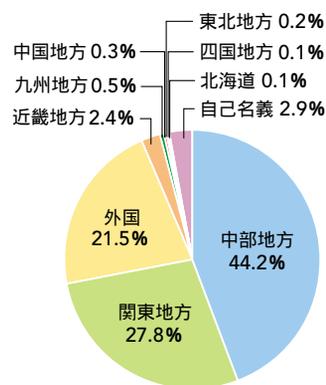
株主数

4,274名

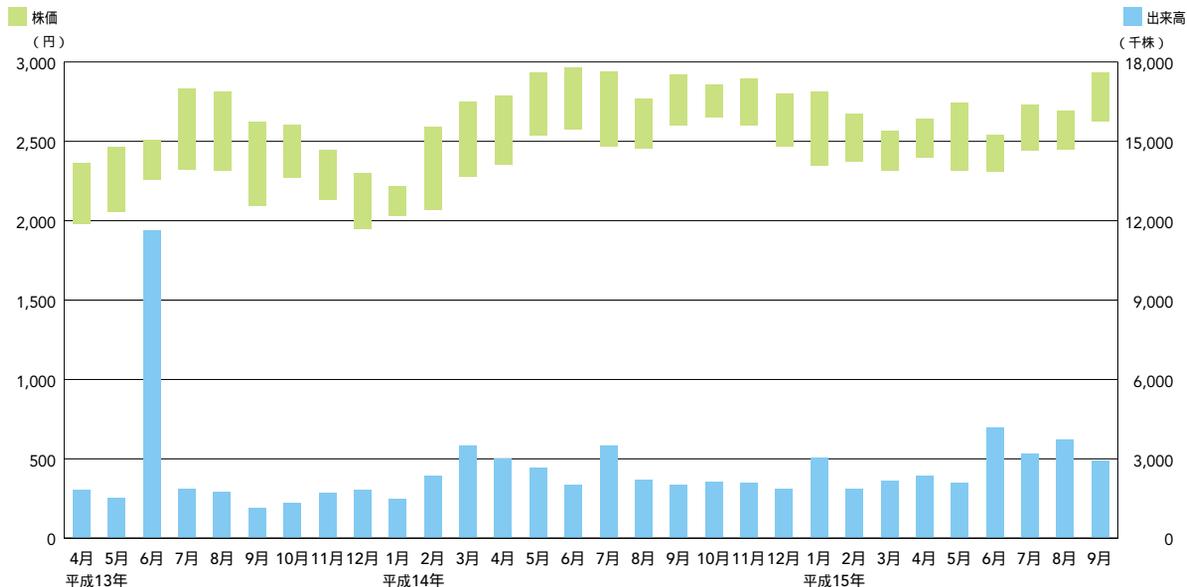
所有者別株式分布



地域別株式所有分布



株価の推移



株主メモ

決算期

毎年3月31日

利益配当金は毎年3月31日現在の株主に、
中間配当金は毎年9月30日現在の株主に支払います。

基準日

(1) 毎年3月31日

(2) その他、必要ある場合はあらかじめ公告いたします。

1単元の株式の数

100株

公告掲載新聞

日本経済新聞

貸借対照表ならびに損益計算書の ホームページアドレス

http://www.rinnai.co.jp/ir/main_ir.html

名義書換代理人

中央三井信託銀行株式会社

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

同事務取扱場所

中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店 証券代行部

〒460-8685 名古屋市中区栄3-15-33

TEL 052-262-1520(代表)

同取次所

中央三井信託銀行株式会社 本店および全国各支店

日本証券代行株式会社 本店および全国各支店

お知らせ

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求および
配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は名義書換代理
人のフリーダイヤル 0120-87-2031で24時間受付
しております。

株式の上場

東京および名古屋証券取引所 市場第1部